特定非営利活動法人ＮＰＯサポートちがさき

令和３年度(2021 年度)　事業報告

（令和 3 年 4 月 1 日より令和 4 年 3 月 31 日まで）

1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内　　容　施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。
日　　時　令和 3 年 4 月 1 日より令和 4 年 3 月 31 日　・通年
場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター他
従事者人員　20 名
受益対象者　公益活動団体及び関心のある個人
支 出 額　27,835,616 円

2. コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぽちが連携事業

実施しなかった。

(2) おでかけ支援事業

内　　容　神奈川県共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業の 3 年目として実施した。
湘南地区まちぢから協議会に対して、まちづくりスポット茅ヶ崎と連携して下記の支援を行った。
国土交通省認定認定ドライバー研修の企画・運営、運転者及び運行管理者等の担い手研修の企画運営、運転マニュアルの作成の助言、社会福祉法人翔の会所有車両の借用等を仲介。
日　　時　令和 3 年 4 月 1 日より令和 4 年 3 月 31 日・通年
場　　所　まちづくりスポット茅ヶ崎、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎市南西部エリア他
従事者人員　2 名
受益対象者　茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民
支 出 額　65,000 円

(3)余暇支援ネットワーク

中止となった。

3. 協働によるまちづくり推進事業

(1) 企業と NPO のマッチング

内　　容　神奈川県との協働事業「企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 茅ヶ崎・寒川」を開催した。
日　　時　令和 4 年 3 月 4 日
場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び ZOOM でのオンライン開催
従事者人員　10 名
受益対象者　茅ヶ崎市、寒川町を中心に横浜、横須賀、鎌倉等、県内各地からの参加者

支 出 額　274,670 円

(2) 食から未来へ勉強会

内　　容　［地域の野菜・果樹の力を知ろう］地域農産品について基礎から勉強することを通じ新しいネットワーク及び人材の発掘を行った。

日　　時　通年･特別企画：11 月 12 日(金)岩井達文教大学元教授
テーマ『Philosophy of Health～Food &Diet』

場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び茅ヶ崎市内

従事者人員　6 名

受益対象者　会員及び一般市民

支 出 額　40,500 円

(3) 地域コミュニティ勉強会

内　　容　市民まなび講座を利用し、勉強会を開催。

日　　時　7 月 9 日(金)、12 月 2 日(木)

場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター

従事者人員　4 名

受益対象者　会員及び市民活動に関心のある市民

支 出 額　42,500 円

(4) SDGsネットワーク事業

内　　容　2021 年度に指定管理事業としてにスタートした SDGs カフェと連動し SDGs の推進をテーマにした交流会を開催する予定であったが、新型コロナ感染症の影響で対面でのイベントを実施できない状況にあったため、実施を見送った。、異分野で活動する人材の顔の見えるネットワークを広げた。

日　　時　通年

場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター

従事者人員　1 名

受益対象者　会員及び市民活動に関心のある市民

支 出 額　382,080 円

4. 市民活動に関する調査研究事業

実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

内　　容　子どもの主体的な活動を支援する「ちがさき・さむかわこどもファンド」の準備会を立ち上げて、高知市と名取市の先進事例等を研究し、2022 年度からの実施に向けてファンド運営の仕組みを構築した。

日　　時　通年

場　　所　茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員　11 名

受益対象者　会員及び市民活動に関心のある市民
支 出 額　202,496 円

1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

総括

2021 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで 5 年間の指定管理期間、初年度は、引き続き新型コロナウィルスの影響下での運営となった。「緊急事態宣言」の発令や「まん延防止等重点措置区域」への指定等に伴い、開館時間が短縮された期間があったものの、スタッフ・来館者ひとりひとりがしっかりと感染症対策を講じたことで、館内での感染はなく安全に運営することができた。

年間利用者は 12,665 名で、前年度比 148%、印刷機利用は前年度比 161%、備品貸出件数は前年比 214%と、活動を再開する人・団体が回復傾向にあった。ホームページ年間閲覧数は 60,586 件（Google 統計、1カ月間の訪問者総数計）で前年比 114%だった。

市民活動推進のための主催講座やイベントに関しては基本をオンライン開催とし、Zoom のブレイクアウトルームも活用するなど、できるだけ参加者同士が交流できるような工夫をした。オンライン事業のメリットは、受け手の興味・関心のあるテーマであれば、市内外問わず遠方からでも参加してもらえることだが、参加者が限られてしまうデメリットもあった。また個人の学びの場としてレクチャー形式の内容には適しているものの、地域のネットワーク形成に向けた場づくりの観点からは、対面実施のような効果を得ることが難しいというもどかしさもあった。

社会全体で進む急速なデジタル化の中で、市民活動におけるオンライン活用も今後さらに普及・発展していくと予想される。サポセン開設 20 周年となる 2022 年度は、館内の快適な通信環境の確保と、市民・団体の IT スキルアップ支援強化を図るとともに、誰一人とり残さず、誰もがまちづくりに参加できる機会の提供を目指したい。

（1）施設の運営に関する業務

ア ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たない市民活動団体に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出した。

58 団体（大:18 団体、小:40 団体）、稼働率 87.8%

イ 作業コーナー・貸出用パソコン・貸出備品の管理運営に関する業務

・印刷機など作業コーナーの各種機器類に関する利用者への使い方サポート、利用料の精算・領収書発行、ならびに機器類付属部品・消耗品の管理を行った。前年に続き、事前予約制による作業コーナーの利用人数制限や機器類の消毒をこまめに行い、安心して利用いただけるよう努めた。また機器類の不具合調整やトラブル対応、保守点検業者との速やかな連絡調整により、利便性の維持に努めた。

・今年度から新たにカラー印刷機を導入。コピー機のような操作の手軽さとほぼ実費負担分となる料金設定により、徐々に利用が増えていった。印刷製本費の削減や作業時間の短縮、カラーで見やすい資料等、金銭面だけでなく、団体活動の広がりにも貢献できた。

・主に公益・共益活動団体への貸出備品の利用は年間 203 件、前年の倍以上の貸出があり団体の活動が活性化してきた事が読み取れる。原則、事前予約を受け備品貸出の際は使い方の指導を行い、貸出・返却時には機器の状態や付属品を確認し、随時貸出用備品のメンテナンスを行った。

・館内貸出 PC5 台の日常のメンテナンス・ソフトのアップデート等を行い、使い方指導やトラブル対応など、利用者へのサポートを行った。年間の貸出数は 791 件、前年比 114%と利用数増加。

ウ ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。120 件。

エ 自主事業の実施業務

SDGs ネットワーク会議を予定していたが、コロナ禍で対面の事業難しくなったため、実施を見送った。

オ 職員体制に関する業務

・グループウェア「サイボウズ Office」「メールワイズ」、LINE、Zoom 等のオンラインツールを日常的に活用しての情報伝達他、事務所内での文書回覧など、様々な手段でスタッフ間の情報共有、コミュニケーションを図った。

・毎月のスタッフ会議では市からの報告事項や主催事業の進捗状況確認、施設運営の課題等について共有した。

・事業検討会議もほぼ毎月行い、指定管理事業の企画内容について方向づけをした。

・第 3 水曜日（休館日）にはスタッフ勉強会を実施。施設の管理運営における基本方針、考え方を確認しながら様々なテーマで意見交換し、スタッフ全体の意識の向上を図った。また業務に不可欠なオンライン会議や相談対応のスキルアップ、消防訓練ほか危機管理対応についても学習機会を設けた。

・新人スタッフに対しては OJT を中心とした研修、その他すべてのスタッフに対し、主催事業（NPO 講座など）や外部研修への積極的な参加を推奨し、個々のスキルアップを図るとともに、研修報告をシェアし互いに学び合った。

開催日	概要（＊はオンライン開催）	参加人数
6 月 2 日(水)	NPOと行政の対話を促進するための連続講座 第 1 回「NPO と行政の役割を理解する」＊	1 名
6 月 3 日(木)	Zoom 研修（講師：NPO 法人パソコンボランティア湘南）＊	13 名
6 月 25 日（金）	NPOと行政の対話を促進するための連続講座 第 2 回「NPO と行政の協働のあり方を知る」＊	2 名
7 月 16 日(金)	中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾　実務ステップアップ編 ～コロナ禍でどうしてる？オンラインカフェ～＊	2 名
9 月 17 日(金)	中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾　実務ステップアップ編 ～多文化ソーシャルワーク入門～＊	2 名
9 月 27 日(月)	神奈川県ボランタリー活動支援施設「新任スタッフ研修 1 日目／ NPO、市民活動の基礎知識」＊	5 名
9 月 27 日(月)	令和 3 年度WAM助成シンポジウム 「NPOと行政との協働の現在地～地域共生社会の実現に向けて～」＊	1 名
10 月 18 日(月)	「助成金申請のポイント」セミナー＠相模原市緑区ソレイユさがみ	2 名
10 月 25 日(月)	神奈川県ボランタリー活動支援施設「新任スタッフ研修 2 日目／ 市民活動支援センターの役割」＊	5 名
11 月 9 日(火)	ボランティアコーディネーター・相談員研修/基本コース＊	1 名
12 月 1 日(水)	WAMオンライン学習会「地域共生社会に必要な連携とは何か？」＊	1 名
12 月 8 日(水)	基金 21 団体成長支援事業中間報告会 「組織基盤強化の重要性を学び、NPO支援へとつなげる」＊	2 名

カ その他施設の運営に関する業務

①コロナ対応の利用ルールに基づく施設運営

・打合せスペースや印刷機利用の事前予約を受け付け、「施設予約受付表」を活用して館内が密にならないように人数調整を図りながら来館者対応を行った。

②オンライン化への対応

・オンライン開催の主催イベント・研修・会議の普及で利用頻度が高くなった館内ネット環境の整備に努めた。必要な機器類の充実を図り、貸出 PC やスタッフ業務用 PC の保守点検を定期的に実施した。また、主催事業実施の際には回線が途切れずに円滑に実施できるようにレンタル Wi-Fi を活用し、利用者の利便性を確保した。

・スタッフの IT 研修やオンライン会議の実践を通してのスキルアップ、入念な事前リハーサルなど、オンライン事業の運営体制強化に努めた。

③寄贈物品の利用者への提供

・企業や個人から提供された物品（事務用品、消耗品、カレンダー、手作り品など）を館内にて頒布。一部は有料とし、げんき基金への募金とした。

（２）市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

ア　相談業務（利用者からの声、問合せ対応含む）

相談等は随時対応。毎月 1 回（第 2 月曜日）、法人代表理事による特別相談日を設けて対応した。

・相談や問合せを受けるきっかけは、インターネット検索他、団体の活動現場での情報交換やスタッフの日頃のつながりから、シルバー人材センターの生涯現役応援窓口や市役所・福祉関連機関からの紹介など。

・団体からは、新規事業の立ち上げや既存事業の進め方へのアドバイスがほしい、人材や活動場所・資金の確保に困っている、民間助成金申請にあたっての推薦コメントがほしい、公的機関や関連団体と連携したい、広報面で支援・協力してほしい等の相談があった。

・活動歴の浅い団体は、コアメンバーが少人数で意思決定が早く、SNS を駆使して協力者を得ながらも思いのままスピーディに物事を進めていく傾向があり、特に行政との連携については文化の違いなども説明しながら、丁寧な伴走支援を心掛けた。市内初のインクルーシブ遊具の設置など、思いをカタチにできた事例もあった。

・自分の生活や仕事を通じて感じた社会的課題の解決に本格的に取り組もうとする、専門スキルを持った現役世代の動きが目立った。

・何年もの時を経て、サポセンの取り組みが実を結ぶと実感できる出来事もあった。高校生の時にサポセンの紹介でボランティア体験をした市内小学校教諭から、5 年経験者社会体験研修受入れの相談があり、研修先の団体活動をコーディネートした。

・個人の方からは、今後の活動に向けて情報収集をしている、特技や仕事の経験を活かして（就労も視野にいれ）何か活動したい、子ども食堂・学習支援・海岸清掃のボランティアをしたい、コロナ禍でも活動している歌のサークルを紹介してほしい等。猫やペットの保護に関する問合せも多く寄せられ保健所や動物保護団体につなげた。

・施設・備品の利用に関する内容では、コロナ禍で様々なイベント等がオンライン開催となったことで、家にネット環境が整っていない利用者から PC や大型モニターを利用して視聴したい、Zoom 会議のためにサポセンのPCと場所を貸してほしい等の問合せが目立った。パソコンの使い方相談に関しては、パソボラ湘南の PC サポートにつなげたが、市役所で実施されていた「市民パソコン体験コーナー」が縮小され、個人の方からのニーズが増えた。

＜相談・利用者の声・問合せの内容＞

カテゴリ	利用者の声	問合せ	相談	計
ア.施設・備品の利用	35 件	42 件	7 件	84 件
イ. サポセン主催事業	7 件	32 件	3 件	42 件
ウ. 市の施策（協働推進事業・げんき基金）	1 件	0 件	3 件	4 件
エ. ボランティア・市民活動	3 件	25 件	18 件	49 件
オ. 団体の運営（法人設立・組織運営）	0 件	7 件	9 件	16 件
カ. 団体の運営（活動資金・助成金）	3 件	2 件	15 件	20 件
キ. 団体の運営（活動場所）	0 件	0 件	4 件	4 件
ク. 団体の運営（ボランティア募集・人材確保）	1 件	1 件	3 件	5 件
ケ. 団体の運営（広報）	14 件	5 件	7 件	26 件
コ. 団体の運営（活動内容・事業企画）	6 件	3 件	11 件	20 件
サ. 団体の運営（会計・税務・労務・）	0 件	1 件	0 件	1 件
シ. 団体の運営（その他）	2 件	2 件	9 件	13 件
ス. 地域資源・情報のコーディネート	7 件	7 件	18 件	32 件
セ. 行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	1 件	0 件	3 件	4 件
ソ. その他	15 件	41 件	17 件	73 件
合　計	95 件	168 件	127 件	390 件

＜所属内訳＞

所属区分	利用者の声	問合せ	相談	計
市民活動団体	47 件	45 件	53 件	145 件
特定非営利活動法人（NPO 法人）	10 件	7 件	12 件	29 件
公益法人・非営利法人	6 件	5 件	5 件	16 件
行政	2 件	10 件	2 件	14 件
企業	1 件	1 件	4 件	6 件
学校	0 件	4 件	1 件	5 件
地縁団体（自治会など）	3 件	2 件	5 件	10 件
福祉関連機関	2 件	4 件	0 件	6 件
その他	2 件	5 件	4 件	11 件
個人	20 件	85 件	34 件	139 件
合　計	95 件	168 件	127 件	390 件

イ 市民活動の IT 支援

(ア)「市民活動の PC サポート」機会の提供（協力：NPO 法人パソコンボランティア湘南）

市民活動団体や自治会等地縁団体で活動する方、関連機関職員等がパソコン操作で抱えていた悩みを解決するため、さらに団体のスキルアップを目的に実施した。相談内容は「ZOOM のやり方」「Word や Excel の基本操作」「チラシの作り方」「Word に写真を挿入したい」「バックアップについて」「メールのやりかた」など。

・実施期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月　・実施回数：24 回（毎月第 2 月曜日、13：00～15：30）

・利用者数：のべ 128 名

(イ)「IT スキルアップミニ講座」の実施

PC 操作やアプリの使い方、また SNS やオンラインツールに慣れていない市民活動団体のために、対面による IT 支援講座を計6回開催した。

開催日	概要	参加人数
6 月 2 日（水） 6 月 3 日（木）	**「ZOOM 入門～はじめの一歩」** 内容：使い慣れた参加者自身のパソコン・タブレットを持参してもらい、Zoom 初心者が利用するためのノウハウについて2日間に分け解説。 1 日目：ZOOM ミーティングへの参加、ZOOM アカウントの作成 2 日目：ホスト役ミーティングを設定、ミーティング内での資料・画面共有ほか 講師：大木　伊都子さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南理事長）	6 名
8 月 24 日(火)	**「Word でチラシづくり ～中級レベル」** 内容：団体の広報担当対象。Word の各種編集機能でレイアウトを工夫したり、素敵な画像の挿入や文字を装飾する紙面作成方法について。 講師：関山 昭子さん（NPO 法人 パソコンボランティア湘南）	6名
10 月 19 日(火)	**「Excel で名簿作成＆表活用」** 内容：経験者向けに、セルの入力規則や便利な書式設定、簡単な関数の使い方や集計方法など多少高度なテクニックを解説。 講師：鈴木 洋一さん（NPO 法人 パソコンボランティア湘南）	10 名
12 月 7 日（火）	**「ZOOM ホスト編」** 内容：ZOOM でのオンライン講座や会議参加経験があり、自分がホスト(主催者)になって講座や会議を企画したい方、サークルの仲間とのテレビ電話代わりに利用したい方向け。ホストになった際に必要なミーティング開催時の注意点や、重要な事前の設定など。 講師：大木　伊都子さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南理事長）	10 名
2 月 1 日（火）	**「パワーポイント活用」** 内容：会員・ボランティアの募集や助成金申請時のプレゼンなどにも使えるパワーポイントを、上手に活用して、静止画像から動画を作成したり、見やすく整理された資料をつくるコツ。 講師：大木　伊都子さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南理事長）	5名

3 月 22 日（火）	**「ホームページ制作」** 内容：団体の活動をWEB で発信、特にHP 作りなどに無料で利用できるGoogle サービスの一つ「Google サイト」を使って、団体メンバーが共有できる HP を作る方法。 講師：横溝 芳明さん（NPO 法人 パソコンボランティア湘南）	4名

ウ 「NPO 講座」の実施

市民活動を活性化するため、組織づくり、資金集め、会計処理、事業企画や広報力アップの手法など、Zoom によるオンライン講座を計 4 回開催した。

開催日	概要	参加人数
10 月 30 日（土）	**Ⅰ「ひとりひとりの得意を生かした組織づくり」** 内容：市民活動を自分たちのペースで長く続ける極意や、メンバーが専門スキルを活かして活動すること、まわりを巻き込む事業のつくり方、助成金の活用法など 講師：塩崎 裕子さん（イーハトーブ湘南 会長、園芸家）	6 名
11 月 13 日（土）	**Ⅱ「ココがポイント！ 助成金・補助金申請」** 内容：助成機関はミッションとする社会課題の解決のために提供した資金が効果的に活用されることを望んでいること、地域の課題やニーズをとらえ社会に影響を及ぼす可能性を感じる事業がより評価されること、申請者の視点ではなく審査員が何を求めているのか審査員の視点にたって共感できる申請書を作成することが重要であること、など。 講師：水澤 弘子さん （さがみはら市民活動サポートセンター 総括責任者兼センター長） ※市職員による市民活動げんき基金補助制度の説明も行った	5 名
12 月 4 日（木）	**Ⅲ「できる！ 市民活動の会計処理」** 内容：会計処理の意義、帳簿の作り方や管理の仕方について実務の解説（①NPO 法人の役割と会計、②お金の管理と記帳、③人に支払うお金の話、④法人税、消費税、印紙税）、質疑応答 講師：本郷 順子さん（NPO 法人税理士による公認活動サポートセンター理事）	9 名
1 月 29 日（土）	**Ⅳ「思わず参加したくなる活動の作り方、共感を得るためには…」** 内容：多くの人々の共感をえるためには、どうすればよいのか、具体的な戦略作りの手法、SNS を活用した広報について 講師：熊沢 博樹さん（海岸清掃団体 湘南ウキブイ 代表理事）	14 名

エ 「地域の居場所づくり交流会」の実施

地域の居場所づくりに関心のある市民、居場所づくりを支援する立場にある自治体職員・福祉関係者等を対象に、市内外の様々なタイプの居場所の事例を紹介しながら、居場所運営の現状とノウハウ（課題含む）を学ぶ機会を提供した。「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」と情報交換をしながら企画した。

開催日	概要	参加人数
2 月 26 日（土）	**地域の居場所づくり交流会Ⅵ**（オンライン（Zoom）による開催） ・講演「居場所を再考する～つながり創出の視点から～」 ・市内2つの居場所事例の発表 ・グループワーク（ブレイクアウトルーム） ・全体会（グループから主な話題の報告） ○講師・事例発表者 講師：守本陽一さん（一般社団法人ケアと暮らしの編集社 代表理事） 事例発表者： ・松本素子さん（ふらっと南湖） ・高村えり子さん（ママほぐ）	29名

オ 「SDGs カフェ」の実施

多様な分野で活動するゲスト講師をお招きし、SDGs に関わる具体的な活動実践について学びながら、参加者同士の顔の見える関係を築くきっかけづくりの場を提供することを目的に、今年度は、オンライン（Zoom）にて実施した。市民活動団体、行政、企業、SDGs に関心のある個人など、グループワークを通して意見交換も行った。

開催日	概要	参加人数
10 月 12 日（月）	**第 1 回キックオフ「みんなで創る 誰一人取り残さない社会」** 講師：高木超さん(慶応義塾大学大学院 特任助教)	24 名
2 月 5 日(土)	**第 2 回「スポーツでつながろう！～いつまでも元気に、 楽しく住み続けられる私たちの未来まちづくり」** ゲスト：壺坂剛さん（(一社)アステム湘南スポーツソサエティ 代表理事）	26 名
3 月 12 日（土）	**第 3 回「宝物であふれるまちに～みんなで考えよう 茅ヶ崎のごみのこと～」** ゲスト：田中藍奈、阿部汐里さん（BENIRINGO） ※こどたん+2022 Zoom ライブイベントとして実施	23 名

カ 「こどたん+(プラス)」の実施

前年度までの、まちの将来を担うこどもとその家族を主な対象とした体験イベント「こどもたいけん☆ワイワイまつり」を、本年度からは、大人やシニア層でも世代を超えて、多世代で楽しめる体験イベントにパワーアップ。企画当初は対面での体験活動も計画していたが、感染症対策を考慮して昨年度に続き今回もオンラインのみの開催となった。

前年の反省点や改善要望などを検討しながら、企画会議・キックオフミーティング・参加団体募集・市民への広報を行い、サポセンホームページ上に 2022 年 2 月 14 日(月)～3 月 13 日(日)の期間中「こどたん+2022 特設ページ」で 5 つのコンテンツ企画を公開実施した。WEB 特設ページ制作協力は(株)ボンドに依頼。

日時	内容	備考
9 月 10 日(金) 9 月 11 日(土)	募集要項・参加申込書の公開、配布 ・キックオフ MTG①開催(18:00～19:00) ・キックオフ MTG②開催(10:00～11:00)	①：5 団体/8 名、②：7 団体/6 名、 その他、別日で 3 団体/6 名が参加
10 月	・参加団体申込み受付（10/1～10/31）	・参加企画について随時相談対応
11 月～1 月	・5 企画(動画配信・SDGs クイズ・遊びアンケート・プラクラ・ZOOM ライブ)と団体紹介の公開準備	・(株)ボンドと特設ページ詳細打合せ ・チラシ印刷発注
2 月上旬	・公共施設・市内 19 小学校などへチラシ配布、 ・広報ちがさき 2/1 号、タウンニュースなど掲載 ・ZOOM 企画団体と事前 MTG・リハーサル	イベントまとめサイトや、各参加団体 SNS などでも広報を行った
2 月 14 日(月)～ 3 月 13 日(日)	・こどたん+2022 特設ページ公開 （2/23・27・3/6・11・12・13ZOOM ライブ開催）	参加・協力：29 団体（初参加：10 団体） ※1 団体が複数企画へ参加もあり

①YouTube 動画配信 86 本(市民活動団体等 24+行政 5 参加)

うち、期間中のさぽせんチャンネル視聴回数は 473 回。市民活動団や公民館で活動する団体による動画や、市を広報する動画などさまざまなジャンルの動画を提供。今回は動画をカテゴリに分けて表示することで、動画を検索しやすくなるよう工夫した。

②SDGs クイズ 52 問(9 団体参加) 課題解決に取り組む市民活動団体からの出題

③「おしえて！好きなあそび、むかし好きだったあそび」（サポセン企画の参加者アンケート、回収 134 件）

期間中は週ごとに集計結果を公開

④プラクラ(学生ボランティア企画) ペットボトルキャップ等を使ったクラフトづくり動画公開

⑤ZOOM ライブ 13 回(13 団体、参加者総数 178 画面)

こどたん+イベントで知り合った様々な人たちと交流しながら、改めて『ちがさきの魅力』を知り、これからも住み続けられる素敵なまちにするため自分にできることを考えるキッカケづくりの場を提供できた。次回開催に向けたふりかえりでは、さらにレベルアップした企画作りや、対面開催の期待の声があがっていた。今後チラシの配布先も拡大していきたい。

キ 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

中学生から大学生くらいを対象に、ボランティアのきっかけ作りのプログラムを実施。ボランティア体験から社会の一員としての意識と、参加者個人の成長を促し、地域社会の課題と向き合う市民活動の芽を育むことも目的としている。(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で、新たな参加者を発掘し活動への関心を広めている。受入先として高齢者・障がい者・子育て・保育・環境保全・地域安全・社会教育などにかかわる17団体が当初参加の意向を示したが、コロナの影響により 2 団体が実施直前に受入れを中止し、加えて 1 団体が、途中で活動を中止した。希望した体験の機会がなくなってしまった学生には、ひとりひとり意向を確認したうえで新たな活動先をコーディネートし、できるだけ参加してもらえるように対応した。

開催日	概要		参加人数
7 月 9 日(金)	オリエンテーション 1 日目	場所:茅ヶ崎市役所 本庁舎 4 階会議室	75 名
7 月 10 日(土)	オリエンテーション 2 日目	場所:茅ヶ崎市民活動 サポートセンター	
7 月 11 日(日)～17 日(土)	個別オリエンテーション 場所:サポセン、社会福祉協議会		24 名
7 月 21 日(水)～9 月11日(土)	ボランティア体験期間(2 日以上の体験)		85 名

例年、8 月に「カフェdeボランティア」を開催し学生たちのボランティア体験を共有する場としていたが、コロナ禍のため対面では実施せず、今年度は「シェア de ボランティア」と称し、提出された体験レポートより抜粋したものをまとめてサポセン HP の開催報告に掲載した。

ク 若者ボランティア支援に関する業務

若い世代のボランティア活動希望者に対し、ひとりひとりの思いを丁寧に引出し実際の活動へとつなげた。特に、今年度は、市内の県立・私立高校 5 校すべてから学生を受け入れた結果となった。(延べ活動人数:計 122 名)

毎月高校の部活単位で受け入れている、中学の頃から受験期以外は続けて受け入れている、ユースボランティアでサポセンでの活動がきっかけでその後の「こどたん+20220 学生企画」への呼び掛けに応じた、ボランティア塾後にボランティアを希望したことから関係が続いている、高校生時代の部活で受け入れていた専門学校生が団体の相談対応の声掛けに応じたなど、単発に加えて多くの継続的なボランティア意識をみることができた。

(ア)ボランティア活動相談、個別オリエンテーション、活動先コーディネート(延べ 9 名)

夏休み期間～9 月:中学生 3 名(第一中学・洗足学園中学)、ボランティア塾後の相談:2 名(鶴嶺高校)

団体(一般社団法人 4Hearts)の活動に参加:4 名(鶴嶺高校、大船高校、東京医薬専門学校)

(イ)高校の部活動月1回活動受入(延べ 34 名)

・茅ケ崎高校ボランティア同好会 5/31:8 名、10/21:7 名、11/25:7 名

・茅ケ崎西浜高校 JRC 部 4/23:3 名、5/26:2 名、6/11:3 名、10/29:3 名、11/26:1 名

(ウ)個人のボランティアインターン等の活動受入(延べ 5 名)

4/4,25 5/2,23 7/10(大船高校:1 名)

(エ)ユースボランティアの活動受入(延べ 16 名)

7/24,25(湘南アレセイア高校)、8/2(赤羽根中学校)、8/3(茅ケ崎高校)、8/5,6(湘南アレセイア高校)、
8/7(湘南アレセイア高校)、8/9,16(茅ケ崎北陵高校)、8/10(茅ケ崎高校)、8/11,13(実践女子大)、
8/12(明治学院大)、8/21(茅ケ崎西浜高校)、9/3,4(日本女子大)

(オ)サポセン主催事業でボランティア受入(延べ 58 名)

①ユースボランティアオリエンテーション準備・受付・片付け

7/9:12 名、7/10:9 名(茅ケ崎高校ボランティア同好会、茅ケ崎西浜高校 JRC 部、鶴嶺高校 JRC 部)

②こどたん+2022 学生企画:プラスチッククラフトの動画制作、サポセン 20 周年記念アート作品制作

10/10:5 名、10/31:3 名、11/14:6 名、12/12:4 名、12/19:3 名、1/16:6 名、1/23:3 名、1/30:4 名

(日本女子大学、アレセイア湘南高校、茅ケ崎北陵高校、大船高校)

③こどたん+2022 ZOOM ライブイベントモニタリング

2/27:1 名、3/12:1 名、3/13:1 名(日本女子大学、アレセイア湘南高校、茅ケ崎北陵高校)

ケ 「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」の実施

県立鶴嶺高校 1 年生対象、「探求学習」の授業支援として、高校と連絡調整を行いながら企画、実施した。

第一部は高校生と年代が近い若者二人をゲストに迎えることで、高校生が自分事として捉えやすい講座内容とした。第二部は当初、15 団体が授業の企画を立てヒアリングを行いながら準備を進めていたが、9 月に学校の意向で中止となり、DVD 視聴に切り替えて実施した。

実施後は、生徒からの振り返りをとりまとめ、参加団体と共有した。

開催日	概要	参加人数
11 月 18 日(木)	**「ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2021」** 場所:鶴嶺高校体育館 第一部 講演「自由な選択～出逢って一年の 2 人のはなし～」 ゲスト:BENIRINGO 現在の活動(フリーペーパーや Instagram で環境問題や社会問題について発信)やこれまでの生き方の選択について。 第二部 DVD 視聴(2020 年度サポセン制作、34 分) ・ハチドリのひとしずく ・被災地(南三陸)へ笑顔と元気を届けた先輩たち ・海で活動する 3 団体の紹介(湘南ウキブイ、サーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ、認定特定非営利活動法人 O'ceans Love)	400 名

コ 茅ヶ崎市市民活動推進基金「げんき基金」補助制度に関する業務

(ア)制度や実施事業の周知啓発支援

・ニューズレターへの関連記事掲載、市広報紙「市民の活動だより」への団体紹介記事の掲載仲介を行った。

・次年度事業の募集時期にあわせて NPO 講座Ⅱにて市職員とともに制度について紹介した。

・緑のカーテンで収穫したゴーヤ、企業等から提供を受けた消耗品や事務用品、利用者からの手作り品を窓口にて頒布し、代金全額をげんき基金へ寄付した。(15,218 円)

(イ)市民活動団体等への支援

a 令和 2 年度実施 げんき基金補助事業 実施報告会 5/29(土)オンライン/市役所会議室

・市民活動推進委員としてセンター長が出席、評価を行った。また職員等 6 名が傍聴した。

b 令和 3 年度事業の実施団体(スタート支援 2 団体、ステップアップ支援 4 団体)への支援

・市主催の「進め方説明会」(はじめてげんき基金申請をする 3 団体対象、5 月実施)にて、広報、地域メディアの活用、事業の進め方ポイントについて個別にアドバイスを行った。

・団体の実施事業等への参加、広報の協力、備品の貸出、その他随時必要な支援を行った。

・市主催「報告書作成会」(すべての団体対象)にて、報告書のまとめ方、効果的な書き方について個別にアドバイスを行った。

c 令和 4 年事業申請希望団体への支援

・市主催「制度説明会（12/10(金)オンライン）」への参加

・**「伝わる！企画書作成会（個別申請相談）」**の実施

市民自治推進課と連携して、対面、メール等で事業や予算の組み立て方について個別アドバイスを行った。

・令和 4 年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開ヒアリング/プレゼンテーション 3/19(土)オンライン

職員 3 名が傍聴した。

（３）協働の推進に関する業務

ア 協働に向けた SDGs学習会（テーマ別情報交換会）

市民自治推進課、企画経営課、関係各課、サポセンの 4 者が参加する学習会の開催に向けて、市民自治推進課との打ち合わせ、及び、企画経営課を含めた第1回準備会を開催した。

開催日	概要	参加者
4 月 12 日（月）	「協働事業」についての打合せ 場所：市本庁舎4階会議室2	市民自治推進課 4 名、 サポセン4名
6 月 17日(木)	「（仮称）SDGs 学習会」開催に向けた第1回準備会 場所：市本庁舎4階会議室4	市民自治推進課 3 名、 企画経営課 3 名、 サポセン 4 名
1 月 20 日（月）	「（仮称）SDGs 学習会」に関する打合せ 場所：市本庁舎4階会議室	市民自治推進課 3 名、 サポセン3名

イ 関係機関との情報交換

多様なセクター間の連携・協働の推進に向けて、行政、経済団体、福祉機関、市民活動団体、大学との情報交換を実施した。

日時	機関・団体	内容
5 月 17 日(月)	市福祉政策課	相談支援包括化推進員との情報交換（重層的支援体制整備事業の方向性について）
5 月 31 日(月)	コワーキングスペース「Cの辺り」	現場見学、事業連携に関わる情報交換
6 月 3 日(木)	シェア・ライブラリー「とまり木」	大西さん（とまり木代表）がチガラボ内に開設したシェア本棚見学・情報交換
8 月 23 日(月)	松浪地区地域包括支援センター	令和4年度以降の地域包括支援センターとサポセン等との連携について情報交換
9 月 6 日(月)	市福祉政策課	相談支援包括化推進員との情報交換（地区ボランティアセンター新規事業など）
1 月 20 日(木)	商工会議所	サポセンの事業説明、SDGs推進に関する事業連携の可能性について情報交換
1 月 27 日(木)	鎌倉女子大学	梨本加菜氏（鎌倉女子大学教授、茅ヶ崎市教育基本計画審議会委員）と、茅ヶ崎市の教育政策等について情報交換
3 月 7 日(月)	シェア・ライブラリー「とまり木」	新規開設準備中の「とまり木」の現場訪問、事業連携に関する情報交換

ウ 市職員への研修、研修受け入れ

新採用職員研修講座「行政とNPOとの協働、サポセン紹介」（50 分）を実施した。

4/6(火)：30 名、10/5(火)：9 名　場所：茅ヶ崎市役所本庁舎会議室

（４）情報収集及び発信等に関する業務

ア WEB サイトに関する業務

(ア)ホームページの作成、管理運営、情報発信

サポセンの公式サイトであるホームページ業務では、(株)ボンドに、ホームページ保守管理のほか、毎月 1 回のサイト運用サポートおよび WEB コンサルタントを外注。スタッフでは担えないコンテンツの構成・設計や、レイアウト変更など専門スキルを要する部分で協力を得て、互いに連携を取りながら情報発信サイトの運営を行った。

掲載情報は、市のコロナ対策に基づく開館時間の変更や、施設利用に関するお願い、主催事業のお知らせ、市民活動に役立つ助成・補助金情報や、行政からのお知らせ、その他各種講演会を随時掲載。主催事業では参加者募集バナー表示をするなど積極的に広報を行い、事業終了後は速やかに開催報告を掲載して事業の様子を伝えるよう努めた。本年度は、イベント情報 271 件、助成金情報 43 件、サポセン事業告知・報告 50 件を掲載した。

(イ)SNS（facebook、Twitter、Instagram、YouTube 等）による情報収集・発信

Facebook では、主にサポセン主催事業、館内や花壇の様子、行政からのお知らせや登録団体主催イベントなどを、担当スタッフが情報発信・シェア。また Twitter では、若者向けにイベントやボランティア情報など市民活動のきっかけにつながる情報を提供。本年度は「こどたん+2022」学生ボランティア企画の立ち上げもあり、Instagram での画像・動画による発信も開始し、若い世代に向けて情報発信を強化した。

さまざまな SNS を利活用して、市民活動やボランティア等の活動に関心のある人たちへ、多様な主体とつながるキッカケづくりとなる情報収集・提供を行った。

2022 年 4 月時点の facebook「茅ヶ崎サポセン」フォロワーは 1,049、Twitter フォロワー364、Instagram フォロワー75 と微増している。特に facebook グループ「ちがさき市民応援団」は 159 で前年比 136%と増加し、参加する団体は各自イベント情報を発信しつつ交流を深めている。

イ ニューズレター（サポートセンター情報紙）の発行

「ニューズレター」を年 6 回（各号 1,500 部）発行。館内や市内公共施設への配架、ホームページに掲載の他、データベース登録市民活動団体・近隣自治体のボランタリー支援施設・市内協力団体・個人・企業へ配布。

Vol.76(5 月)より紙面をカラー印刷に変更し、フォントやレイアウトなど、読みさすさを工夫した。来館者や事業参加者に配布し、サポセンの取組みを紹介する資料としても活用した。

巻	発行月	内容
vol.76	5 月	5・6 月主催イベント告知、2021 年度イベント・プログラムスケジュール、令和 3 年度実施市民活動げんき基金補助事業 6 事業決定、団体紹介(さぽちゃんが行く:茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会(茅ヶ崎・寒川やまびこ))、お知らせ（カラー印刷機 RISO ORPHIS 導入、ユースボランティア茅ヶ崎 2021 募集、サポセン利用者懇談会「コロナのモヤモヤおしゃべり会」、サポセン YouTube チャンネル紹介）
vol.77	7 月	こどたん＋プラス 2022、8 月主催イベント告知、事業報告（ユースボランティア茅ヶ崎 2021、サポセン利用者懇談会「コロナのモヤモヤおしゃべり会」、市民活動の IT 支援～スキルアップ講座 ZOOM 入門）、特集（「新型コロナウィルス」の影響と今後の市民活動に関するアンケート 2021 集計結果）、団体紹介(さぽちゃんが行く:ミナスタ)、お知らせ（ちがさき市民活動団体ガイドブック 2021 年度版、市民活動の保険「市民活動等災害補償制度」、「げんき基金」マッチング・ギフト積立の一時休止）
vol.78	9 月	10・11・12 月主催イベント、こどたん＋プラス 2022 告知、特集（市民活動と SDGs）、事業報告（ユースボランティア茅ヶ崎 2021、こどたん＋プラス 2022「キックオフ交流会」）、団体紹介(さぽちゃんが行く:NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会)、お知らせ（市民活動の IT 支援～スキルアップ講座、市民活動の PC サポート、広報ちがさき「市民の活動だより」、市民活動「げんき基金」寄付）
vol.79	11 月	12・1・2・3 月主催イベント告知、事業報告（第 1 回 SDGs カフェ、第 1 回・2 回 NPO 講座）、特集（「市民活動げんき基金補助制度」）、図書コーナー紹介、こどたん＋プラス 2022 オンライン News、IT スタッフ卒業、団体紹介(さぽちゃんが行く:NPO 法人セカンドワーク協会)、お知らせ（市民活動の IT 支援～スキルアップ講座、市民活動の PC サポート）

vol.80	1 月	2・3 月主催イベント告知、事業報告（ボランティア塾 in 鶴嶺高校、NPO 講座、サポセン利用者懇談会「コロナのモヤモヤおしゃべり会 2」）、特集（こどたん＋プラス 2022）、仲介事業紹介、団体紹介(さぽちゃんが行く:わんにゃんマルシェ)、お知らせ（市民活動の IT 支援～スキルアップ講座、市民活動の PC サポート、「貸出ロッカー」利用募集、令和 4 年度実施市民活動げんき基金補助事業「公開ヒアリング・プレゼンテーション」開催）
vol.81	3 月	サポセンの5つの機能紹介、事業報告（こどたん＋プラス 2022、NPO 講座、第 2 回・3 回 SDGs カフェ、居場所づくり交流会Ⅵ@茅ケ崎、市民活動の PC サポート総括、市民活動の IT 支援～スキルアップ講座）、館内各種設備のリニューアル、団体紹介(さぽちゃんが行く:特定非営利活動法人わの会)、お知らせ（コロナ禍のサポセン利用について、市民活動「げんき基金」寄付、広報ちがさき「市民の活動だより」、身近な情報を声でお届け、掲示物コーナー情報

ウ　市民活動団体データベースの作成、管理に関する業務

・市との定期連絡会にて、毎月ごとの施設利用統計に登録団体・新規登録団体・取消団体・ガイドブック(WEB)掲載団体の数値を報告。年間で新規登録 22 団体、取消 13 団体、施設設備利用団体を含む登録は 359 団体。そのうち 305 団体は市民活動団体ガイドブック(WEB)で情報公開している。

・データベース登録 333 団体へ情報更新案内を 5 月下旬に送付、団体情報の更新作業を行った。

・レターケース利用のみの団体には、別途メール・電話にて継続利用の意思確認を行った。
（ロッカー利用のみの団体は、前年度 3 月末までに新規・継続利用の意思確認・使用料徴収済み）

・登録取消団体については、これまでの取り組みで課題が解決して解散する団体よりも、会員の高齢化やコロナの影響もあり、活動休止・解散・代表の逝去などを理由とする団体の方が多かった。

・年間を通じ、新規登録・団体情報の変更を随時受付、データベース情報を更新・ガイドブック掲載情報の更新を行い、市民への最新の団体情報を提供できるよう努めた。

エ　市民活動団体ガイドブックの編集、発行

市民活動団体データベース登録団体の情報をもとに、サポセン HP「市民活動団体ガイドブック」ページに掲載希望団体の情報を公開。本年度より団体ごとのページのプリントアウトが可能になり、欲しい団体の情報を印刷して持ち帰ることできるようになった。なお、冊子の発行がなくなったこともあり、オンライン環境がない等で WEB 版ガイドブックの閲覧ができない人向けに、HP 上の情報を印刷して綴ったファイリング版ガイドブックを作成し、市役所 1 階情報コーナーおよび 4 階市民自治推進課、サポートセンターに設置することで、誰でも団体情報を自由に閲覧できるよう努めた。

オ　広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

広報ちがさき 1 日号「市民の活動だより」へデータベース登録団体より通算 9 団体を掲載。
（8 月、12 月は紙面の都合により掲載はなく、2 月はサポセン事業「こどたん＋2022」を掲載）

カ　サポセン・市民活動 PR に関する業務

(ア)施設の周知に関する業務

・主催事業やお知らせについて館内掲示、花壇設置の広報掲示板での広報を行った。

・サポセン利用案内（パンフレット）を 2,500 部発行し、来館者や主催事業実施時に参加者に配付した。
（印刷や備品借用の料金表は別刷りにして挟み込み）

(イ)市民活動の PR に関する業務

・ニューズレター発行時に、主催事業案内等も含め、データベース登録団体他、公共施設、関連機関へ郵送、手渡し、E メール等により情報提供した。

・地域情報紙や WEB イベントサイトへ市民活動団体やサポセンのイベント等について情報提供した。

キ　図書・情報（掲示物）コーナーの設置と管理運営に関する業務

（ア）市民活動に関する図書の選定と購入、掲示、貸出、管理

・図書コーナー（本棚）脇に「新着図書紹介コーナー」を設け、年2回、オススメ本のポップを作成して利用者が手に取りやすいように工夫した。

・令和3年度新規購入図書:『場づくりから始める地域づくり　創発を生むプラットフォームのつくり』飯盛義徳編著ほか19冊、定期購入雑誌:『ソトコト』（木鐸社）、『ガバナンス』（ぎょうせい）、『ウォロ』（大阪ボランティア協会）、『ビックイシュー』（ビックイシュージャパン）

（イ）市民活動団体、関係機関が発行する掲示物の受付、掲示、管理

・データベース登録団体の会報やリーフレット、イベント開催チラシをメインに掲示。市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座案内、各種ボランティア講座・募集情報、資金面での支援につながる助成金情報などを整理して見やすく掲示した。

・団体情報の収集・提供では、分野ごとの「市民活動団体メモリーファイル」に登録団体のメディア掲載や会報・チラシなどを整理保管し、団体の活動履歴などが把握できるよう努めた。掲示物が多い団体は個別ファイルを作成している。

・広報ちがさきはじめ市主催のイベントやお知らせ、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も、来館者が手に取りやすいようにコーナーを作り、平机と掲示用ラックを活用して掲示・配架した。

・神奈川新聞やタウンニュース等の地域紙に掲載された、市民活動や市に関する記事を曜日ごとにスクラップして来館者に見やすく掲示し、掲示後はファイリングしている。

・開催日程が間近なイベントやコロナ関連情報など、注目してほしい情報へのアクセスを、来館者視点で検討・工夫して情報の掲示を行った。

ク　市民活動の状況調査に関する業務

（ア）市民活動団体へのアンケート調査

データベース登録更新時に Google フォーム及び紙面で「新型コロナの影響と今後の市民活動に関するアンケート 2021」を実施し、ニューズレターVol.77 の特集で集計結果を報告した。

調査対象：データベース登録団体（315 団体）

実施時期：2021 年 5 月 20 日～6 月 13 日

回収率：164 団体（法人 39、任意団体 125）（回答率 52%）

（イ）市民活動団体へのヒアリング調査

今年度は個別のヒアリング調査は実施しなかった。

（ウ）「利用者懇談会」の実施

対面にて実施。参加者ひとりひとりの活動背景や活動における悩みについて、スタッフも交えてじっくりと話を伺った。今後の団体支援のあり方を考えるヒントになった。

開催日	概要	参加人数
6 月 30 日（水）	「コロナのモヤモヤおしゃべり会」	2 団体 2 名
1月7日(金)	「コロナのモヤモヤおしゃべり会 2」	2 団体 2 名

（５）危機管理に関する業務

ア　感染症対策（新型コロナウイルス感染症拡大防止関係）

手指のアルコール消毒、机・イス・PC・印刷機・ドア取手・スイッチなど共用物の都度アルコール消毒、窓の常時開による換気、マスク着用、利用者同士十分な「距離」を保つなど感染予防対策を昨年度にも増して徹底して実施。また、感染状況、緊急事態宣言等の実施状況に応じ、適時、サポセン職員およびサポセン利用者への注意喚起・啓発につとめた。主なものは以下のとおり。利用者の協力もあり館内でのコロナ感染者の発生はなかった。

時期	内容
5 月 6 日（木）	・サポセン内の機械換気装置（11 基）の活用の徹底 ・換気のための窓開け幅（常時開）、冬場5㎝から夏場 10 ㎝に変更 ※冬場は外気温と室温の差(比重の差)が夏場より大きいため、夏場 10cm(最小)の開け幅は 5cm(最小)で十分換気可能。5 月になり気温が上がってきたため、窓開け幅(最小)を夏場バージョン(10cm)に変更。
5 月上旬	・サポセンの感染症対策の見直し ※新型コロナウイルスの変異株の急速な広がりとその感染力の強さ、重症化のしやすさ、無症状者の 3 割が保有する多いウイルス量などから、換気方法を含め、サポセンの感染症対策を再検討。基本的な対策、「密（密閉・密集・密接）」を避ける、他の人と十分な「距離」を保つ、館内では「マスク」をする、手洗い・手指のアルコール消毒を”正しくする”などは継続とした。
7 月 3 日（土）	・健康チェックシート記入用筆記具のアルコール消毒開始
8 月 8 日（日）	・茅ヶ崎市「感染防止対策（開館判断）チェックリスト」に基づき、新型コロナ感染対策の再確認し、利用者間の距離 1.5m～2m 確保のため、机の設置間隔を広げる改善を実施。
10 月 2 日（水）	・サポセン館内の冬期コロナ感染予防 2021 年版作成・展開 ※エアロゾル感染含めコロナ感染予防のため、健康管理、手洗い・消毒以外に、あらためて以下の対策も実施。 ・「ゼロ密」を目指し、人と人との距離は十分(1.5m～2m を目安)に保つ ・換気の徹底(常時窓開け 5cm 幅(冬期))による空気滞留の防止 ・マスク(不織布)の正しい着用(マスクを鼻・あごにすき間なくフィットさせ、しっかりと着用)啓発 ・大声の発声・大笑いなどエアロゾル発生行為を利用者に控えてもらう ・冬期、室温は 18℃～22℃、湿度は 40%以上(50%～60％)を維持（エアコンと加湿器の活用） ・昼食時や休憩時間は、できるだけ少人数(1 人)ですごし、飲食中は会話せず、会話をする時はマスク着用を徹底する。
1 月 29 日（土）	・オミクロン株対策についての注意喚起実施 感染予防対策として従来以上に、「マスクの正しい着用」「手洗い・手指消毒」「共用物の消毒」「うがい」「三密回避」「換気」といった基本的な感染予防対策の徹底を図った。

イ 防火管理、防災管理、建物管理

防火管理、防災管理、建物管理などについて以下の内容を実施した。

実施日	内容	備考
4 月 1 日（木）	防災管理チェック表 2021 版作成	
4 月 5 日（月）	建物附属設備自主検査チェック	
4 月 21 日（水）	エアコン保守点検（豊美空調設備）	
4 月 26 日（月）	119 番通報マニュアル作成	
4 月 26 日（月）	緊急連絡網作成	
5 月 10 日（月）	消防用設備等定期自主検査チェック	
6 月 30 日（水）	自動ドア保守点検（昭和ドア）	
7 月 14 日（水）	消防用設備点検（平和防災）	
9 月 17 日（金）	総合点検及び無線関連機器交換（ALSOK）	
9 月 17 日（金）	台風 14 号の事前対策及びマイタイムライン作成	
9 月 30 日(木)	台風 16 号の事前対策	

実施日	内容	備考
10 月 11 日(月)	建物附属設備自主検査チェック	
10 月 15 日(金)	第 1 回訓練実施計画書提出(防対課)	
10 月 20 日(水)	第 1 回消防総合訓練実施(オンライン)	参加 14 名
10 月 20 日(水)	エアコン保守点検(豊美空調設備)	
10 月 26 日(日)	第 1 回訓練実施結果報告書提出(防対課)	
11 月 8 日(月)	消防用設備等定期自主検査チェック	
11 月 16 日(火)	第 2 回訓練実施計画書提出、水消火器 2 本借用(防対課)	
11 月 17 日(水)	第 2 回消防総合訓練実施	参加 14 名
12 月 24 日(金)	第 2 回訓練実施結果報告書提出(防対課)	
12 月 27 日(月)	自動ドア保守点検(昭和ドア)	
1 月 18 日(火)	消防用設備点検実施(平和防災)	
3 月 17 日(木)	甲種防火管理講習スタッフ 1 名受講	

（６） 施設の維持管理に関する業務

ア 建物設備

・保守管理業務においては、5 月及び 11 月に建物維持管理点検を行い、市へ報告した。

・小規模修繕業務としては、上記点検でも確認された雨樋の不具合による配管交換工事を専門業者に委託して行った他、フェンスの支柱のぐらつきの補修、駐車場の整地に砂利の補充等を行った。

・館内の安全性や利用者の快適性確保のため、劣化・故障が見られたフリースペースのテーブルや傘立て、玄関蛍光灯具の反射板など設備備品の補修、男子トイレ暖房便座の設置を行った。

・保守定期点検業務においては、例年どおり消防設備、空調設備、自動ドアについて専門業者に委託して保守点検を行った。なお、市の負担で、2 月及び 3 月で空調設備のうち 2 系統で不具合による設備の更新工事を、3 月に館内の照明 5 か所の不具合による LED 化工事を行った。

・清掃に関しては、例年どおり障がい者支援の事業所に委託して日常清掃及び定期清掃を行った。

・保守警備業務においては、例年どおり専門業者に委託してシステムによる警備を行った。なお、3 月に館内のシステム設備を更新した。

・産業廃棄物(蛍光管、金属類及びプラスチック類等)は、年度末にまとめて専門業者に委託して適正に処理した。

イ 植栽

・季節ごとの花苗植え替えや植木剪定、除草など、ボランティア「さくら草の会」の協力も得て、サポートセンターの花壇やプランターの植栽の管理を行なった。

・夏季にはプランターにゴーヤの苗を植えて緑のカーテンに仕立て、収穫したゴーヤは来館者と分け合い、代金はげんき基金に寄付した。

（７） 経営管理に関する業務

・事業計画書と収支予算書、事業報告書と収支決算書を作成し、市に報告した。

・月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。

・月間利用統計表、月ごとの業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。また、月 1 回定期連絡会を実施し、情報共有に努めた。

（８）その他の業務

ア 環境配慮

茅ヶ崎市環境基本計画の趣旨に基づき以下の取り組みを行った。

(ア)エコな取り組み推進

省エネルギーでは、「太陽光発電」「キャノッピースイッチによる消灯」「待機電力の削減」「緑のカーテン」「適切な館内温度の管理」「雨水有効活用」「自動販売機不設置」を実施中。また省資源・廃棄物等の削減（3R リデュース・リソース・リサイクルの実践）では、「古紙使用や廃棄物リサイクル」「使用済みペットボトルキャップやインクカートリッジ回収」「主催事業時のゴミ発生抑制」を実施中。

(イ) NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワーク（REN）所有設備に関すること（太陽光発電、蓄電池）

太陽光発電の発電・売電の集計や電気使用量の記録など、REN との連絡調整を行っている今年度 REN に支払った自家消費分は 191,643 円。

イ 視察対応、他機関との連携に関する業務

市内関連機関、他市ボランタリー活動支援施設等とは、定期打合せや会議等への参加を通して密に情報交換を行い、市民活動支援に役立てている。

開催日	概要（＊はオンライン開催）	参加人数
4 月 22 日(木)	茅ヶ崎市長面談（こどたん報告とビデオメッセージ御礼）@茅ヶ崎市役所	3 名
4 月 22 日(木)	平塚市市民活動推進委員会（令和 3 年度第 1 回）@ひらつか市民活動センター	1 名
4 月 30 日(金)	茅ヶ崎市議会議長訪問（こどたん報告とビデオメッセージ御礼）@茅ヶ崎市役所	2 名
5 月 12 日（水）	平塚市協働事業審査会　令和 2 年度実施事業報告会@ひらつか市民活動センター	1 名
5 月 28 日(金)	文教大学国際学部との定期ミーティング@ちがさきサポセン	3 名
5 月 31 日(月)	令和 3 年度大和市市民活動補助事業「発達サポーター育成講座」＊ (オブザーバー参加)	1 名
6 月 4 日(金)	平塚市協働事業審査会　令和 4 年度実施事業第一次審査会@ひらつか市民活動センター	1 名
7 月 2 日(金)	文教大学国際学部との定期ミーティング@ちがさきサポセン	3 名
7 月 15 日(木)	平塚市市民活動推進委員会（令和 3 年度第 2 回）@ひらつか市民活動センター	1 名
8 月 25 日(水)	平塚市協働事業審査会　令和 3 年度事業中間ヒアリング（書面）	1 名
9 月 7 日（火）	ボランタリー活動支援施設 CEO ミーティング＊	3 名
9 月 24 日(金)	文教大学国際学部との定期ミーティング@ちがさきサポセン	3 名
10 月 2 日(土)	平塚市協働事業審査会　令和 4 年度実施提案型協働事業公開プレゼンテーション＆審査会@ひらつか市民活動センター	1 名
10 月 21 日(木)	平塚市協働事業審査会　令和 4 年度実施提案型協働事業　事業化説明会@ひらつか市民活動センター	1 名
11 月 11 日(木)	平塚市市民活動推進委員会（令和 3 年度第 3 回）@ひらつか市民活動センター	1 名
12 月 18 日(土)	藤沢市市民活動推進センター20 周年イベント＊	2 名
12 月 25 日(土)	神奈川県中間支援情報交流会＊	2 名
1 月 12 日(水)	災害時の連携を考えるかながわフォーラム＊	2 名
3 月 4 日(金)	企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 茅ヶ崎・寒川 ～こどもの未来を創る垣根を超えた連携～＊	2 名
3 月 5 日(土)	令和 4 年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンテーション＆評価＊	1 名

3 月 6 日(日)	茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター令和 3 年度運営委員会(書面)	1 名
3 月 13 日(日)	防災カフェ 2022 春「わが家の備え　再・総点検」(主催:防災スイッチオン！)＊	4 名
3 月 23 日(水)	令和 3 年度農水省補助金事業「フードバンク活動マッチング支援事業」成果共有会(主催:特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川)＊	1 名

ウ　企業の社会貢献活動の仲介

①明治のお菓子

2013 年度より毎年クリスマスの時期に、明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障がいのある子どもを対象にした活動や東日本大震災の影響を受けている子どもたちの支援をしている団体への寄贈を仲介している。今年度は、コロナ禍でも活動を継続している 2 団体(チアフル、手をつなぐ育成会ウィズ)他 7 団体の子どもたちとも分かち合った。

②たのくんからの贈り物

通信販売事業「たのめーる」のパッケージ破損などで戻し入れになった商品や季節商品などをNPO団体や福祉施設に寄贈する社会貢献プログラム。今年度も(株)大塚商会より申し出があり、文房具類は子ども支援団体に、衛生用手袋当の消耗品は福祉施設に仲介した。

③ふらっとパル茅ヶ崎からの提供物品

ふらっとパル茅ヶ崎は、生活協同組合パルシステム神奈川が NPO 法人セカンドリーグ神奈川に運営を委託している交流スペース。災害備蓄食品や飲料水を市内のこども食堂や民生委員、こども支援団体に仲介した。

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者（5 期目）となり、センターの管理運営と合わせて、以下記載のとおり法人の様々な事業を展開した。

２．コミュニティ形成を支援する事業

(1) まちスポ×さぽちが連携事業

NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎(以下、「まちスポ」という。)と、当法人（さぽちが）からなる会議体「まちスポ×さぽちが連携会議」は開催できなかった。

(2)おでかけワゴン支援事業

令和 3 年度神奈川県共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業の 3 年目として、湘南地区まちぢから協議会の動向をみながら、まちづくりスポット茅ヶ崎と連携して必要な支援を行った。

・国土交通省認定認定ドライバー研修「かながわ福祉移動サービスネットワーク」に講師依頼・日程調整、2 月 26 日（土）参加者 12 名、告知ちらし案作成、当日運営

・組織運営：準備会（隔月第 2 月曜日）・実行委員会（隔月第 3 土曜日）に出席

・運行記録：おでかけワゴン利用実態を記録するために伴走して写真撮影など

運行状況⇒感染症予防のため予約制で運行

定期運行：毎週火曜日（ベルパーク⇔BRANCH 茅ヶ崎 2 まで 2 往路）

マンション便：第 2、第 4 土曜日（グランバーグ&エクシード ⇔ BRANCH 茅ヶ崎 2 直通 1 往復）

(3) 余暇支援ネットワーク

「キラキラちゃんぷる音楽祭」は、新型コロナウイルス感染の蔓延防止のため中止となった。

３． 協働によるまちづくり推進事業

(1)企業と NPO のマッチング

2015 年度市との協働推進事業の一環で市内各団体とヒアリングをした。その後のフォローが必要と考え、内 7 団体・個人とヒアリングをした。

コロナ禍において変化、課題など意見交換した。団体のリーダーの交代など、大きな変化のある団体もあるが、そうした中引き続き積極的活動を続けている団体・個人が、ほとんどである。今後とも大切なネットワークとして共に連携を深められた。

・企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 茅ヶ崎・寒川

神奈川県との共催で「こどもの未来を創る垣根を超えた連携」開催。

基調講演のあとパネルディスカッションとグループセッションを行ない協働・連携に取り組むきっかけ、出会いの場、交流の場となった。

日時：令和 4 年 3 月 4 日（金） 14 時～16 時 50 分

場所：オンライン開催（ZOOM）

参加者：45 名 （企業 7 名、NPO 等 28 名、大学 4 名、行政等 6 名）

(2)食から未来へ勉強会

岩井達文教大学元教授による特別企画　テーマ：『Philosophy of Health～Food &Diet』

長年交流のある岩井先生が、別地域に移住されることになり、特別に先生の永年の研究

テーマである《穀・菜・果　食》について講義をお願いした。食に対する根源的な思想にふれ、滅多に無い、極めて深い勉強会であった。

日時：11 月 12 日（金）15 時～16 時 30 分

場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び ZOOM

参加者：福祉・介護農園普及会 2 名、会員 6 名

(3) 地域コミュニティ勉強会

第 1 回地域コミュニティ勉強会

テーマ「茅ヶ崎の農業の現状と課題」コロナ禍の先を見据えて

茅ヶ崎市経済部部長、農業水産課職員を講師に迎えての勉強会を開催。「農業」の意義・「農」に関する期待、茅ヶ崎における「農業」の課題、今後の農業に関する動きなど様々な感想・意見交換ができた。

日時：7 月 9 日（金）15 時～16 時 30 分

場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び ZOOM

参加者:14 名

第 2 回地域コミュニティ勉強会

テーマ《コロナ禍の暮らしとポストコロナの地域》

～自由な意見交換を通じて今後の地域コミュニティ、市民活動について考えます～

アンケートを整理、分析結果を報告、説明し、その後参加者同志の自由闊達な意見交換があり有意義な勉強会となった。今後の勉強会の進め方へのヒントも得た。

日時：12 月 2 日（木）10 時～11 時 30 分

場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び ZOOM

参加者：会員 10 名、アンケート参加 17 名

(4) SDGsネットーワーク事業

SDGs カフェと連動し SDGs の推進をテーマにした交流会を開催する予定であったが、新型コロナ感染症の影響で対面でのイベントを実施できない状況にあったため、実施を見送った。、異分野で活動する人材の顔の見えるネットワークを広げた。

4. 市民活動に関する調査研究事業

今年度は実施しなかった。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

子どもの主体的な活動を支援する「ちがさき・さむかわこどもファンド」の準備会を立ち上げて、高知市と名取市の先進事例等を研究し、2022 年度からの実施に向けてファンド運営の仕組みを構築した。

6. 行政･他機関への委員会委嘱等の協力 ［事務局］

派遣等

茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会（年 1 回）

茅ヶ崎市行政改革推進委員会（年 2 回）
社会福祉法人翔の会理事会 （年 4 回）
社会福祉法人翔の会運営会議（年 1 回）
茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会（2 回）
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第 1 層協議体 （年1回）
大和市市民活動推進補助金事業アドバイザー （年 2 回）
神奈川県指定特定非営利活動法人審査会（初年度は 1 回・書面評決）

他セクター等との連携等

茅ヶ崎商工会議所 新春賀詞交歓会 1 月 7 日（金）
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 新年式典 1 月 18 日（火）

後援・協賛等

今年度はなし。

その他

(1)会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

A4判、単色印刷、年4回（6月、10月、1月、3月）の発行

34号：通常総会報告、さぽちがのビジョン、2021年度事業計画、おでかけワゴン、写真で綴るさぽちが・サポセン1、ハーモニー創刊号、凡樹瑠殿からの預り金の活用(南湖ハウス、ママほぐ)

35号：全体会(20周年記念事業)、ハーモニーの由来、地域コミュニティ勉強会(茅ヶ崎の農業)、写真で綴るさぽちが・サポセン2、特別号：指定管理者に決定の速報、

36号：代表理事・役員の年頭挨拶、食から未来へ勉強会(岩井達先生)、地域コミュニティ勉強会(コロナ禍の暮らしとポストコロナの地域)、こどもファンド進捗、

37号：全体会(こどもファンド進捗、役員改選)、臨時総会(定款変更)、神奈川県との共催(パートナーシップミーティング)

(2) 仲間づくり部活動＠RIVENDEL・全体会

RIVENDELを利用し、参加者相互の親睦を深めてきたが、コロナウイルス感染予防対策のため活動できなかった。

第 1 回全体会：さぽちが創立 20 周年記念事業について

日時：9 月 4 日（土）15 時～17 時

場所：茅ヶ崎コミセン及び ZOOM

第 2 回全体会：ちがさき・さむかわこどもファンドと役員改選について

日時：3 月 26 日（土） 15：00～16：00

場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター及び ZOOM

(3)情報発信・HP更新

1.NPOサポートちがさきHP（https://sapochiga-mirai.com/）の更新・編集

～7月　全担当・代表理事・事務局長より前回の業務委託先などの情報収集更新

8月　　HPの更新キックオフミーティング、HP担当者がHP制作ソフトウェアWordPressのIDとパスワードを入力し自由に更新・編集可能になった。

～12月「問合せ」への迷惑メール予防策、団体情報、事業内容で主要事業の過去公開情報復活

※活動の応援(ご参加)に「寄付」追加、会員のページ追加パスワード入力で閲覧可、『ハーモニー』掲載)、PDF閲覧法の改善、お役立ちリンク（NPO/市民活動のお役立ち情報)充実など

2.NPOサポートちがさき開催事業の報告をタイムリーに掲載

3.こどもファンド専用サイト設置(https://sapochiga-mirai.com/fund-of-children-in-c-s/)

法　人　運　営

1. 通常総会　　2021 年度定期総会

日　　時:　令和 3 年(2021 年) 5 月 19 日（水） 15:00～16:55

会　　場:　茅ヶ崎市商工会議所 2 階会議室及び ZOOM によるオンライン会議

出席者数:　出席 15 名、委任状 13 名、WEB 表決者 5 名　合計 33 名(正会員総数 42 名、過半数が出席)

議　　事:　第 1 号議案　令和 2 年度(2020 年度)事業報告の承認

第 2 号議案　令和 2 年度(2020 年度)収支決算の承認

第 3 号議案　令和 3 年度(2021 年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定

第 4 号議案　令和 3 年度(2021 年度)収支予算の審議・決定

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

2.　臨時総会

日　　時:　令和 4 年(2022 年)3 月 26 日（土） 15:00～16:00

会　　場:　茅ヶ崎市民活動サポートセンター（茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7）及び ZOOM

出席者数:　13 名　委任状 20 名　合計 33 名（正会員総数 42 名、過半数が出席)

議　　事:　第 1 号議案　定款変更について

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

3. 理事会

第 1 回　4 月 14 日(木) 定期総会の開催にむけて事業計画、予算書

第 2 回　5 月 11 日（水) 2020 年度決算及び 2021 年度事業計画、予算書について

第 3 回　8 月 9 日(月) 認定の更新申請について

第 4 回　9 月 27 日(月)　自主事業の進捗状況、さぽちが創立 20 周年記念事業について

第 5 回　10 月 27 日(水) こどもファンド事業準備会とパートナーシップミーティングについて

第 6 回　1 月 26 日（水)　役員改選とパートナーシップミーティングについて

第 7 回　3 月 2 日（水)　　役員改選、全体会、臨時総会について

4. 運営会議

事業の進捗、会計報告等サポートセンターの管理運営に関する事項および自主事業推進についての 意見交換を行った。

第 1 回 11 月 10 日（水）こどもファンド、パートナーシップ、さぽちが HP
第 2 回 12 月 22 日（水）運営会議の役割、進め方
第 3 回 3 月 17 日（木）センター事業と人件費

以上